

開講学科	総合デザイン工学科		前橋工科大学 シラバス			
科目名	文学	標準対象年次	選択／必修		科目コード	
		3年次	選択		18000201	
担当教員	今井 勇	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	後期	木曜日	6時限	
授業の教育目的・目標	広汎な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の涵養を図るとともに、工学の専門教育に必要な基礎的学力、思考力ならびに表現力などを修得させる。					
学科の学習・教育目標との関係	大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。					
キーワード	日本文学 近・現代史 差別 戦争 近代批判					
授業の概要	近・現代日本文学の形成・展開・受容のあり方を作品の内在的な分析を通じて検証し、文学世界が有する「おもしろさ」とともに、批判知としての可能性について理解する。それは、私たちの生きる近・現代日本が内包する様々な問題を浮き彫りにする一方で、時代の変化に応じた豊かな知見を与えてくれるものでもある。劇作や映像作品なども積極的に活用したい。					
授業の計画	第1回：	ガイダンス・科学と文学				
	第2回：	近世から近代へ―「国語」の形成と文学				
	第3回：	夏目漱石と「明治の精神」①―西洋批判と「自己本位」				
	第4回：	夏目漱石と「明治の精神」②―「維新の志士たち」の追求				
	第5回：	近代日本文学と差別①―映像化された文学作品『破戒』を観る				
	第6回：	近代日本文学と差別②―島崎藤村『破戒』から住井すゑ『橋のない川』へ				
	第7回：	近代日本文学と差別③―沖縄・アイヌ・在日と文学				
	第8回：	石川啄木にみる「時代の精神」				
	第9回：	中間課題発表会				
	第10回：	プロレタリア文学の高揚と衰退①―白樺派から『種蒔く人』へ				
	第11回：	プロレタリア文学の高揚と衰退②―「政治と文学」をめぐる				
	第12回：	劇作家・三好十郎とその時代①―プロレタリア作家から戦争協力へ				
	第13回：	劇作家・三好十郎とその時代②―反戦・平和の文学の確立				
	第14回：	戦後日本文学の展開と課題				
	第15回：	補論・まとめ				
受講条件・関連科目	特にありませんが、文学だけでなく日本近・現代史に関心のある方の受講も歓迎します。					
授業方法	講義をおこないます。必要に応じて映像作品なども使用します。 講義後、出欠確認を兼ねたレスポンスシートの提出を求めます。					
テキスト・参考書	初回ガイダンスの際に参考文献を紹介するとともに、必要に応じてテキストを配布します。					
成績評価	・中間課題（40%） ・期末テスト（40%） ・レスポンスシート（20%）					
履修上の注意	専門的な予備知識は求めませんが、問題意識の高い、学習意欲ある皆さんの受講を期待します。					
オフィスアワー	特に設けませんが、レスポンスシートを通じた質問や講義前後の質問に随時対応します。					